

夢きよく 道はるか

R5.12.12

文責 菅谷 信



歌声響く合唱コンクール

コロナ禍の間は、中止あるいは学年ごとの実施などと、全校での一斉実施はできなかった合唱コンクール。校内での合唱活動はもとより、音楽の授業でも満足に歌うことができない日々が長く続きました。



11月8日(水)、今年こそは「4年ぶりに全校一斉の開催ができる」と計画していましたが、ここへ来てインフルエンザが大流行してしまい、3年生の2クラスに学級閉鎖が出てしまったため仕方なく3年生は17日(金)に延期して、1・2年生と3年生を別日で開催することにしました。



8日の第1部【1・2年生の部】では、り患者の多い3年生は教室においてリモート鑑賞を行いました。また、17日の第2部【3年生の部】では、今度は1年生に多くのり患者がいたため、2・3年生のみ体育館に入り、1年生は教室でリモート鑑賞という形をとりました。互いの歌声を生で聴くことができない学年がいたことは、とても残念です。特に、お手本となる3年生の合唱を1年生が体感できなかったことが

心残りとなりました。ただ、保護者の皆様に公開できたことは何よりでした。急な予定変更にもかかわらず、多数の方々にご参観いただき、誠にありがとうございました。

ところで、合唱活動は「東中の文化・伝統」として、生徒会活動の中で部活動や応援・あいさつとともに大切に受け継がれてきたものでした。コロナ禍により奪われてしまった活動でしたが、ようやく校内に歌声が響く日常が戻り、「東中らしさ」がまたひとつ取り返せたように感じます。



ただ、見本を見せたい3年生にとっては、経験の積み重ねが少ない分、プレッシャーは大きかったのではないのでしょうか。インフルの流行もあり、満足に練習ができなかったことも不安材料でした。しかし、最上級生としてのプライドをかけた演奏は、そんな心配を吹き飛ばす3年生らしい立派で美しいものでした。さすがは3年生です。思いが伝わる見事な歌声に“上級生の合唱に憧れる下級生”という東中の伝統は、ここからまた再出発をすることができたように思います。



どのクラスも甲乙付けがたい素晴らしい合唱で、賞を決めなければならない審査員の先生方は、たいへん悩まれていました。特に3年生は最終的に互角との判断から2クラスに最優秀賞を与える結果となりました。

【1年生の部】

| 発表順 | クラス | 曲 目 | 賞 |
|-----|-----|-----------|-----|
| 1 | 1-3 | チェリー | |
| 2 | 1-1 | 君をのせて | |
| 3 | 1-6 | 変わらないもの | 最優秀 |
| 4 | 1-5 | この星に生まれて | |
| 5 | 1-4 | この地球のどこかで | 優 秀 |
| 6 | 1-2 | あさがお | |

【2年生の部】

| 発表順 | クラス | 曲 目 | 賞 |
|-----|-----|-----------|-----|
| 1 | 2-1 | Y E L L | 優 秀 |
| 2 | 2-4 | G i f t s | |
| 3 | 2-2 | ほらね、 | |
| 4 | 2-3 | 結 -ゆい- | |
| 5 | 2-5 | 青い鳥 | |
| 6 | 2-6 | 時の旅人 | 最優秀 |

【3年生の部】

| 発表順 | クラス | 曲 目 | 賞 |
|-----|-----|-------------------------|-----|
| 1 | 3-1 | 証 | |
| 2 | 3-4 | Soon-ah will be done | 最優秀 |
| 3 | 3-5 | 手紙～拝啓十五の君へ～ | |
| 4 | 3-6 | 心の瞳 | |
| 5 | 3-3 | 旅立ちの時～Asian Dream Song～ | |
| 6 | 3-2 | あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～ | 最優秀 |



新生徒会役員が決まりました

12月6日(水)、来年度の生徒会役員を決める立会演説会と選挙が行われました。4年ぶりに全校生徒が体育館に集合し、立候補者を前にして、意気込みや公約を直接聞くことができる演説会を行うことができました。今いる生徒たちには、初めての経験となります。大勢の前で演説するのは緊張かもしれませんが、どの立候補者、責任者とも素晴らしい演説で、こんなにも東中のことを想ってくれる生徒がいることが、とても頼もしく思えました。

選挙ですので、無情にも当落の結果は出てしまいましたが、全ての立候補者にこの東中生徒会を引っ張って行ってほしいと思っています。また、白票などの無責任な投票がなかったことも、全校生徒が、今後の新生徒会に大きな期待を寄せていることがわかります。みんなの期待に応える新役員たちの活躍を期待します。



◎新役員は…
会長 中田 理人さん
副会長 大沼 一稀さん
副会長 井出 せつさん

12月の行事予定

- 4日(月) きずなの日 時差登校
到達度検査(全校) 職員会議
- 6日(水) 生徒会役員選挙立会演説会・投開票
- 7日(木) 短縮 当選証書授与式
生徒会専門委員会
- 11日(月) 短縮 避難訓練
- 12日(火) 部長会
- 13日(水) ブロック解散会
- 14日(木) かねて支援学校交流会(1年生)
- 15日(金) 短縮 愛校作業・ワックスがけ
- 18日(月) きずなの日
- 20日(水) 短縮 三者懇談(～25日)
- 25日(月) 給食終了
- 26日(火) 2学期終業式
新リーダー研修会
- 27日(水) 冬期休業日(～8日)
- 28日(木) 学校閉庁日
- 29日(金) 職員年末年始休業(～3日)



1月の行事予定

- 5日(金) 校長会テスト(3年生)
- 9日(火) 3学期始業式 時差登校
発育測定 職員会議
- 10日(水) 給食開始
冬休み明けテスト(1・2年生)
書き初め大会
- 11日(木) PTA執行部会・常任委員会
- 15日(月) 短縮 きずなの日
三贈会実行委員会
- 17日(水) 公立前期募集出願(～22日)
- 18日(木) 3年生進路相談日(～19日)
三贈会部門別会議
- 22日(月) きずなの日
- 25日(木) 短縮 甲教協
- 26日(金) 短縮 小学校訪問(1年生)
- 29日(月) 短縮 生徒評議会

【情報】「部活動の地域移行」ってどういうこと？

最近、耳にすることも多くなってきた“部活動の地域移行”。わかるような…わからないような…、という方も多いでしょう。「部活動は無くなるのか」という疑問もよく聞きます。わかる範囲で少し情報提供いたします。

少子化が進み、生徒数の減少は著しく、部員数の減少に伴って一つの学校ではチームとして成り立たない運動部が各校にできています。それは本校のような大規模校も例外ではありません。また、生徒が減れば教員数も減ります。部活動を指導する顧問が足りなくなるということです。専門的な指導ができる先生も当然少なくなります。それならば部の数を減らせば良い…と、単純にいかないのが現状です。生徒は減る、先生も減る、部は残る…こういった背景をもとに、このままでは持続不可能となり得る部活動の様々な問題を解決すべく、浮上してきたのが“部活動の地域移行”です。まずは土日の活動から手がけ、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するための『地域クラブ活動』を構築しようというのが、スポーツ庁・文化庁の提言というわけです。

ところで甲府市では、地域移行に向けた検討委員会を立ち上げ、令和6年度からの試行的運営に向けて協議を重ねています。今のところでは、市内を複数のブロックに分け、毎月の土日の何回かに、地域の指導者が活動を指導する場を設定して、生徒が自由に参加できるような方法を模索しているようです。詳細はまだ不明な点も多いですが、近々それに関するパンフレットが甲府市から出されると思いますので、そちらもご参照ください。